

SDGs トリシマの具体的な取組み

SDGs 目標6番[水・衛生]

6 安全な水とトイレを世界中に



安全な水とトイレを世界中に

だれもが安全な水とトイレを利用できるようにし
自分たちでずっと管理していけるよう(持続可能)にしよう。

ポンプを通じて
私たちがどのように
貢献できるのかを知ろう!



日本は幸運にも水に恵まれた国で普段の生活で水不足を感じることはほとんどありませんが、昨今続く災害時には、1日でも断水になると、手が洗えない、料理ができない、トイレの水が流せないなど、水のありがたみを痛感します。しかし世界には、それが日常の国も多くあります。

きれいな飲み水が手に入らない人は約22億人、安全に管理されたトイレを使えない人は約42億人。汚れた水や不衛生なトイレは感染症の原因になり、とくに女性や女の子にとって野外で用を足すことは身の危険にもつながります。また、いまだ収束のみえない新型コロナウイルス感染症の基本的かつもっとも効果的な予防策は手洗いですが、それも難しい……。

水は代替品がないうえに簡単に運ぶこともできないので、水不足の国や地域では自分たちで管理、運営できる上下水道設備を整えることが何より大切なのです。そこで打ち立てられた目標がこの6番。

「だれもが安全な水とトイレを利用できるようにし、自分たちでずっと管理していけるようにしよう」。

トリシマは、上下水道用ポンプや海水淡水化プラント用ポンプの提供を通して、この目標達成に大きく貢献することができます。

